

カーボンニュートラルへの挑戦 <⑨>



事業と製品で脱炭素推進

クロセ（高石市）

クロセは、事業活動と製品の両面で脱炭素を進める。事業活動では、温室効果ガス排出量を2030年度までに2019年度比46%削減する目標を掲げ、2025年1月にS B T 認定(※)を取得。これを機に使用電力の一部を環境負荷の少ない電力に変更したほか、工場内のリアルタイム消費電力測定、事務所の断熱工事、ポロシャツ作業着や最新式スポットクーラーの導入など、現場起点の省エネ施策を実施。

製品面では、省エネに資する熱交換器の供給に加え、製品の一部に温室効果ガス排出量を削減した鉄鋼材料を採用。資材調達と製品の両面で温室効果ガス削減に挑む。

同社の黒瀬慶昭代表は「自社の強みである詰まりに強く高効率なスパイラル熱交換技術を通じ、地域と産業の持続可能な発展に貢献していきたい」と話す。

※科学的根拠に基づき企業が設定する温室効果ガス削減目標の認定制度（高石商工会議所）

詳細はこちら▶

